

令和3年度第1回小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業検討委員会
(書面開催) 記録

- 1 開催期間 令和4年1月28日(金)～令和4年2月11日(金)
- 2 開催方法 書面にて各委員から意見聴取
- 3 委員 田中 秀治、関 哲雄、廣畑 英治、高木 敏行、山田 好広、
野中 宏朋

4 議題

- (1) 令和3年度実施事業報告及び令和4年度実施事業について

【田中委員】

- ・ コロナ禍で活動しにくかったと思いますが、以下の点の検証を踏まえて次年度の計画を立てていただければと考えます。
- ① 総合相談窓口に寄せられた相談からどのような課題が挙げられたか。また、そこからシニア活動、市民活動などに結び付いたものはあったのか。
- ② 就職支援セミナーや就職相談会の参加者が就労や地域活動に結び付けることはできたか。

【関委員】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来場者が伸び悩んだことは、大変残念に思います。(来年度は支え合いいきいきポイントの窓口業務もスタートするので、積極的にPRを行っていききたいと思います)
- ・ P5：④就労に対するニーズが高まった根拠があれば記載していただきたいと思います。セミナーなどのアンケート内容の抜粋などがあれば、より事業に対するニーズが明確になるのではないかと感じました。
- ・ P8：マッチング事業について、人材を求める企業へのマッチングは就労支援そのものを指す内容となるので、生きがいを求める個人と、社会貢献をするボランティア団体とのマッチングにしてはどうでしょうか。

【廣畑委員】

シルバー人材センターの事業実績については、次のとおりです。

- ・ 令和3年度実施事業報告について

1 総合相談窓口(資料1P4)

- (1) 高齢者就労相談を毎週月・金曜日10時から16時に行い、17件の相談に対応した。

2 体験会や説明会等の開催（資料1 P55）

(1) シルバー人材センター入会説明会を毎月第1・3水曜日の14時からシルバー人材センター東棟2階会議室で開催し、119名が参加、うち78名が入会した。

(2) シルバー人材センター出張説明会を2月7日14時からワクティブこまき内で開催。

(3) 愛知県シルバー人材センター連合会共催のハウスクリーニング講習を11月1・2日に開催し、9名が参加、うち3名が入会した。

(4) 愛知県シルバー人材センター連合会共催の草刈機講習を11月5日に開催し、7名が参加、うち2名が入会した。

(5) 剪定実技講習会を2月21日の10時からシルバー人材センター敷地内で開催。

・令和4年度実施事業（資料1 P8）

1 令和3年度に行った事業に加え、新たな体験会の実施を検討する。

2 各種事業の連携を検討する。

【高木委員】

- ・ 総合相談窓口の運営に携わる者の一人として、利用される方が少ないことに頭を痛めております。効果的な周知により、多くの方を知ってもらうことで利用促進につなげていきたいと思っております。
- ・ 資料8ページの令和3年度から引き続き実施するものの④は、時代に合った内容であり、良いのではないかと思います。

【山田委員】

- ・ 現役労働者向けセミナーに関しては、思うように実施することができませんでした。市内の大手企業の人事課や組合に働きかけましたが、コロナ、自社研修実施との理由で受けて頂けませんでした。
- ・ また、市内の会社で小牧市社会福祉協議会に協力金を頂いている所を何社か回りましたが、勤務時間・50代後半の人が殆どいない等の理由で実施できませんでした。2月にワクティブこまきでセミナーの開催を広報でPRしたところ現在数人の申し込みがありました。

【野中委員】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業の開催、その周知が厳しい状況であることと思っております。そのような中でも、総合相談窓口の開設、中高年齢者再就職支援セミナー及び高年齢者のための就職説明会が開催され、一定数の相談者、参加者があったことは評価される

べき実績です。

- ・今年度この先予定されている「退職後の生きがいづくりセミナー」「スタートアップ講座」が無事開催されるとよいと思います。
- ・令和4年度は愛知県モデル事業最終年度となります。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される状況でありながら、今年度の事業を継承し、「マッチング事業」「シルバー人材センター会員による講習」などの新しい事業にも取り組む令和4年度の事業計画に賛同します。

(2) その他（課題、今後取り組みたい事業など）

【田中委員】

- ・賃金を得る活動・・・シルバー工房のような軽作業などを集まって行える場づくり、農協桃サポーター制度など農協との連携事業
- ・福祉活動・・・地域協議会との連携による生活支援、お助け隊へのつなぎ。
第2一寸法師のような活動の立ち上げ支援
- ・健康活動・・・サロンや老人クラブなどでalkoイベント

【関委員】

- ・窓口相談までの敷居が高いように思います。
- ・特に就労相談についてはもともとの窓口に行ったほうが情報量も多く、相談窓口も充実しているように思えますので、就労希望の人を対象とするより、健康生きがいにもっとスポットを当てる事業を行い、「健康の大切さ」や、「生きがいを持つ大切さ」の気付きを与える事業を行い、「その先に」総合相談があるという導線を引く必要性があるのではないかと思います。
- ・商業ビル内にある多世代交流プラザワクティブこまきという環境を活かして、気軽に参加しやすい事業を提案させていただけたらと思っています。

【廣畑委員】

- ・パンフレットの作成、配布。
- ・広報等による周知。

【高木委員】

- ・令和5年度以降の事業について、資料9ページにありますように、この3年で実施した事業の検証に合わせて地域におけるニーズを的確に把握し、それに則した事業を展開することで事業の意義が保てるものと思います。的確なニーズの把握により、総合相談窓口の運営を始めセミナー、体験会、説明会等々の催事に関しても多数の参加者の下での開催につながるのではないかと思います。

ます。

【山田委員】

- ・ 小牧市に関しては、「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」という分かりやすい目標を打ち出しています。また、「がいこくじんのかたへ」という情報発信もしっかりしています。さらに、地域協議会を各小学校校区に設け地域の絆や防災に熱心に取り組んでいることが見て取れます。春日井市在住のものからすると市の方向性が非常に分かりやすく示されています。さらに、高齢者に対しても一目で分かるアピール性のある言葉や相談場所（実際には市役所・ワクティブこまき・小牧市社会福祉協議会等）を色々な場面で紹介して頂けるとより高齢者の方が有意義な生き方をすることができると思います。

【野中委員】

- ・ 本事業は豊橋市、豊田市も取り組んでいると伺っています。
この2市と情報共有や意見交換などはされておられるのでしょうか。あるようでしたら、有益な情報や参考事例などを何かの機会にご教示ください。